

総務教育常任委員会資料

(平成26年3月18日)

【件名】

- 1 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について（教育環境課）…………… 1
- 2 鳥取県教育審議会への諮問について（特別支援教育課）…………… 2
- 3 緊急雇用創出事業の予備枠による事業の追加実施について（高等学校課）…………… 3
- 4 鳥取県子どもの読書活動推進ビジョン（第3次計画）の策定について
（家庭・地域教育課）…………… 4
- 5 企画展「フィレンツェピッティ宮近代美術館コレクション トスカーナと
近代絵画」展の開催について（博物館）…………… 5

教育委員会



一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

平成26年3月18日
教育環境課

【変更分】

工 事 名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工 期	契約年月日	摘 要
県立鳥取東高等学校教室棟耐震改修工事（建築）	鳥取市立川町五丁目	株式会社藤原組	契約金額 225,540,000円を 234,745,350円 (9,205,350円 増額)に改める。	平成25年3月1日～ 平成26年2月28日 (変更なし)	平成26年2月14日 (第1回変更)	(変更理由) 屋上防水改修の追加等を行ったため。
県立倉吉総合産業高等学校校管理棟新築工事（建築）	倉吉市小田	株式会社井木組	契約金額 486,150,000円を 491,023,050円 (4,873,050円 増額)に改める。	平成25年1月16日～ 平成26年3月10日 (変更なし)	平成26年2月19日 (第1回変更)	(変更理由) 屋根底の追加等を行ったため。

鳥取県教育審議会への諮問について

平成26年3月18日
特別支援教育課

県教育委員会は、鳥取県における今後の特別支援教育の在り方について、鳥取県教育審議会条例第3条第1項の規定により県教育審議会（会長：矢部敏昭）に対して諮問しましたので、その内容等について、次のとおり報告します。

1 鳥取県教育審議会への諮問

- (1) 日 時：平成26年3月10日（月） 午前10時
- (2) 場 所：白兎会館「飛翔の間（東）」
- (3) 出席者：鳥取県教育審議会委員
- (4) 諮問の内容

次の諮問の内容については、平成26年2月4日（火）に開催された定例教育委員会で決定したものです。

鳥取県における今後の特別支援教育の在り方について

- 1 発達障がいを含めた障がいのある児童・生徒への支援の充実について
- 2 特別支援学校及び特別支援学級における教育の充実及び環境整備について
- 3 特別支援学校を拠点とした県内学校及び保護者に対する支援の在り方について

諮問理由

本県では、障がいのある児童生徒一人一人の自立に向けた支援の充実のために、平成20年11月に示された鳥取県教育審議会答申「鳥取県における今後の特別支援教育の在り方について」に基づき、各生活圏域における教育の充実、特別支援学校におけるセンター的な機能の推進、発達障がいを含めた障がいのある児童生徒への支援の拡充、特別支援教育の普及啓発を基本方針として、平成21年度から本年度まで年次的に計画を立て具体的に施策を実施してきたところである。

近年、特別支援学校や特別支援学級に在籍している幼児児童生徒が増加する傾向が続いており、本県では、特に発達障がいの診断を受けた児童生徒の数は5年前と比較して倍増している。これらの発達障がいを含めた障がいのある幼児児童生徒への教育の充実喫緊の課題となっている。

また、平成23年8月に障害者基本法が改正され、国及び地方公共団体は、可能な限り障がい者である児童及び生徒が障がい者でない児童及び生徒と共に教育を受けられるよう配慮しつつ、教育の内容及び方法の改善及び充実に必要な措置を講じなければならないとされたところである。

このような転換期に際し、「障がいを知り共に生きる」を合い言葉に「あいサポート運動」を展開し、また「鳥取県手話言語条例」を全国に先駆けて制定して、共生社会の実現を目指している本県においては、障がいのある子どもたち一人一人の持てる能力や可能性を最大限に伸ばし、自立して社会に参加できるよう、特別支援教育を積極的に推進していくことが求められている。

以上のことから、本県における今後の特別支援教育の在り方について、鳥取県教育審議会に諮問するものである。

2 今後の予定

- H26.3.26 鳥取県教育審議会学校等教育分科会に特別支援教育部会を設置し、審議を開始
H26.3~10 特別支援教育部会を中心に審議し、答申を受理

緊急雇用創出事業の予備枠による事業の追加実施について

平成26年3月18日

高等学校課

- 1 緊急雇用創出事業の県事業予備枠を活用して追加実施することとした事業費
 (12月1日以降に追加実施を決定した事業) 502千円

2 追加実施事業の内訳

事業名	本年度予算額 うち新規雇用 人件費	雇用創 出人数 (延べ)	①月額給料	事業内容
			②雇用期間(予定)	
			③被雇用者の要件	
高校授業料 無償制見直 し事業	502千円 (452千円)	1人	① 135千円 ② H26年1月 ~H26年3月 ③可能な者	公立高校授業料無償制の見直しについて、 保護者等へ周知するための資料作成を行う。

※この事業は「緊急雇用創出事業臨時特例基金」を活用して実施する事業です。

鳥取県子どもの読書活動推進ビジョン(第3次計画)について

平成26年3月18日
家庭・地域教育課

「鳥取県子どもの読書活動推進ビジョン(第3次計画)」(案)について、パブリックコメントを実施し、2月17日に「鳥取県子どもの読書活動推進委員会」を開催して、意見の対応方針をまとめました。

1 パブリックコメントの実施結果

- (1) 期間 平成25年12月19日(木)～平成26年1月14日(火)
 (2) 意見の募集方法 とりネット、新聞広告掲載、県民課等関係機関での配布
 (3) 寄せられた意見の数 28件
 (反映状況)

反映	盛込済	今後の検討課題	対応困難	その他
16	8	4	0	0

2 主な意見と対応方針

意見の概要		対応方針
これまでの子どもの読書活動推進に係る県の取組を記載してはどうか。	反 映	ご意見を踏まえ、「県の取組」を盛り込みます。
司書教諭を中心に「学校全体で」児童生徒の学習活動・読書活動を推進していく方向を打ち出してほしい。	反 映	学校内で、司書教諭を中心に職員間で連携して学校図書館活用に取り組む体制をととのえる旨を加えます。
司書教諭、学校図書館担当職員の研修の機会を増やすべきである。	反 映	研修機会を設けるほか、市町村教育委員会に働きかけるなど、研修に参加しやすい環境づくりに必要な支援を行う旨を加えます。
子どもが読書に親しむには、まず親が読書に親しむ姿を見せることが必要。大人が効率図書館に行くような取組を進めるべき。	反 映	親子で本に親しむ機会のほか、図書館に訪れる多様な機会の提供に努める旨を加えます。
学校図書館の資料の充実として、新聞の配備についても触れてほしい。新聞は、学習・情報センターとしての学校図書館に必須の資料である。	盛込済	学校図書館に整備が求められている図書には「新聞」も含まれています。また、県内高等学校には全ての図書館に新聞が配備されています。今後も引き続き一層の整備充実を働きかけていきます。
一斉読書の形骸化やマンネリ化がありはしないか。「朝の一斉読書9割実施」の中身についての検討が必要と感じる。	今後の検討課題	家庭での読書の促しや将来の読書習慣確立につながる一斉読書は全県的に継続していきます。また、一斉読書の質については、今後の課題として検討していきます。

3 今後の予定

3月21日	【定例教育委員会】ビジョン(第3次計画)の策定
3月末	市町村及び関係機関等へ通知、ホームページ掲載

企画展「フィレンツェ ピッティ宮近代美術館コレクション トスカーナと近代絵画」の開催について

平成26年3月18日

博 物 館

1 概 要

ルネサンスの都として知られるイタリア、トスカーナ州の州都フィレンツェ。16世紀以来、メディチ家をはじめとする歴代の君主が住居としてきたのがピッティ宮です。現在、その広大な建物と敷地の中には、ルネサンス絵画で有名なパラティーナ美術館などいくつもの美術館、博物館が設置されていますが、今回の展覧会は、ピッティ宮の3階に位置し、主にフィレンツェを中心としたトスカーナにおける18世紀から20世紀までの美術を収蔵している近代美術館(Galleria d'Arte Moderna)のコレクションを紹介するものです。

<展示内容>

ピッティ宮近代美術館のコレクションの特徴は、「イタリアの印象派」とも呼ばれる「マッキアイオーリ(斑点派)」の充実した作品群です。1950年代半ば、イタリア統一運動を背景に、フィレンツェの若い芸術家たちが新しい時代精神を表すのにふさわしい絵画をつくるため、自然の生き生きとした光を色斑によって表現するこの技法を發明しました。陽光とトスカーナの素朴な暮らしや風景が描かれた作品からは、彼らのリアリティへの希求と瑞々しい感性がうかがわれます。

展示については、19世紀のロマン主義による物語画や肖像画、当時のフィレンツェの景観を描いた絵画にはじまり、マッキアイオーリとその影響を受けたトスカーナの多様な表現を紹介、さらにデ・キリコやカッラなど20世紀を代表するイタリアの作家による秀作たちを展覧することで、イタリア近代美術史をより深く理解できる構成となっています。

- 2 会 期 平成26年4月15日(火)～5月27日(火) ※会期中休館日なし
- 3 会 場 鳥取県立博物館 2階 第1・2特別展示室
- 4 観 覧 料 一般800円(前売り、団体600円)
- 5 主 催 鳥取県立博物館
- 6 後 援 イタリア外務省、イタリア大使館、イタリア文化会館
- 7 協 力 アルテリア、日本通運、アリタリアーイタリア航空、日本貨物航空
- 8 企画協力 アートプランニング レイ
- 9 協 賛 株式会社日本通運、株式会社モリックスジャパン、株式会社吉備総合電設、三和商事株式会社
- 10 関連事業

■特別講演会「ピッティ宮近代美術館とトスカーナの近代絵画」

講師：金原由紀子氏(本展カタログ責任編集者・尚美学園大学准教授)

日時：平成26年4月26日(土)午後2時～4時

会場：県立博物館講堂、対象：高校生以上・一般

■担当学芸員によるギャラリートーク

日時：平成26年4月19日(土)午後2時～3時、5月17日(土)午後2時～3時

会場：県立博物館 企画展会場、対象：高校生以上・一般

■アートシアター ベルナルド・ベルトルッチ監督作品「1900年」

日時：平成26年5月10日(土)午後1時10分～6時50分

会場：県立博物館 講堂、対象：大学生以上・一般

■ワークショップ「カフェ・ミケランジェロの夕べ」

日時：平成26年5月24日(土)午後3時～9時

会場：鳥取市内、対象：大学生以上・一般

